

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市教育大綱

- ◆「教え」から「学び」へ
- ◆「管理」から「自己決定」へ
- ◆「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校～

令和8年度桜並木学園グランドデザイン

いばらき教育プラン

活力があり、県民が日本一幸せな県
茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを生き育てやすい県を目指します

桜並木学園教育目標

自ら未来をひらく力の育成
～進んで学び思いやりの心やたくましさを育む学園～



《桜並木学園章》

〔並木中学校〕



学園のめざす児童生徒像

知

●進んで学び新たな発想のできる児童生徒●

- ・小学校での教科担任制の推進
- ・小中学校教員の連携を通じた学習支援による専門的な知識、技能の習得
- ・保護者や研究施設など地域の教育資源や人的資源を生かした体験活動による探究的な学びの充実
- ・ICT 機器の有効活用で実現する個別最適な学び・協働的な学び

徳

●自他のよさを認め思いやりの心で積極的に周囲と関わる児童生徒●

- ・認め合い、高め合う、日々の人間関係づくり
- ・自己肯定感を高め、自他の価値観を尊重する道徳の授業の充実
- ・「考え、議論する」道徳の時間の工夫
- ・人権感覚を磨く学園フォーラムの実施（児童生徒主体の「いじめ」撲滅推進）
- ・デジタル・シチズンシップ教育の推進（情報モラル・SNS等）

体

●可能性に向かって自ら鍛えた逞しく行動できる児童生徒●

- ・学校体育の充実（「体力アップ推進プラン」の推進・体育的行事の充実）
- ・学校健康教育の充実（がん教育、性教育、食に関する指導、薬物乱用防止）
- ・「いばらきキャリア・パスポート」を活用した系統的なキャリア教育の推進
- ・不登校解消に向けた3校連絡協議会の充実（Sルーム活用の情報共有）
- ・中1ギャップの解消と中学生のリーダーシップ育成を図る交流活動の充実

地域と共に児童生徒を育む、活力ある学園・学校づくり ～コミュニティ・スクールへ～

保護者・地域と共に

社会に開かれた教育課程

- 児童・生徒・家庭・地域の実態やニーズを把握し、課題を明確にして、規範意識や自主性、社会性を醸成
- 地域人材のコーディネート、3校PTAによる児童生徒の健全育成や学園全体の安全対策、情報交換の実施

◆ 研修テーマ ◆ 自ら考え対話し、学び合う児童生徒の育成～学びの連続性を意識して～

学校の教育力

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習指導の充実（授業規律の徹底）
- ◎『授業改善プラン』は、RPDCAサイクルを計画的に活用し検証（P(計画指導)/4月実施・C(振り返り・評価)/7月、11月実施）
- ・インクルーシブ教育、特別支援教育の推進（合理的配慮に基づく支援の充実）
- ・全教科・領域におけるタブレット端末の積極的な活用
- ・校内研修の充実【地域・外部人材の積極的な活用/教育相談アドバイザー・大学教授】
- ・本物に触れ、学び・感じる体験的・探究的活動の充実（キャリア教育、人権教育等）
- ・幼・保・小・中の円滑な接続と交流の充実
- ・教育の質の向上を目指した働き方改革

家庭の教育力

- ・PTA活動や学級・学年懇談会を通じた教育活動への理解と協力
- ・授業参観や二者・三者面談を通じた児童生徒理解と健全育成
- ・学校行事（儀式・体育・文化・校外活動・奉仕的な行事）における協力
- ・キャリア教育、健康・安全に関する教育等についての情報共有と活用
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」など、心身ともに健康な生活へのアプローチ
- 学校保健委員会での情報共有と活用

地域の教育力

- ・育てたい子供像や共通目標の共有
- ・地域と連携したあいさつ運動、交通安全対策、不審者対策
- ・関係諸機関との連携の充実
- ・地域に根差した学園防災教育の実践
- ・職場体験学習を始めとする地域の教育力を生かした教育活動の展開
- ・コミュニティ・スクールの充実